

NEWS RELEASE



平成 19 年 2 月 吉日

報道関係 各位

大末建設株式会社
大阪府中央区南船場 2-2-11
広報室 小合 誠一
TEL (06) 6264 - 3727
FAX (06) 6264 - 3702

首都圏初の「落とし込み工法」(特許申請中) 採用

大末建設株式会社(社長:山村多計治)は、株式会社奥村組(社長:奥村太加典)と共同開発した「場所打ち鋼管コンクリート杭の杭頭処理工法(仮称 落とし込み工法)」を首都圏で2物件に初めて採用しました。本工法は場所打ち鋼管コンクリート杭の杭頭余盛コンクリート除去工法の一つです。従来はコンクリートを打設する際に、上部に脆弱なコンクリートが残ることを見越して高く打ち込んだ後、その余盛部分のコンクリートをはつり取る工程が必要で、そのはつり作業日数や、騒音やほこりの発生に伴う近隣対策など、コストを含め作業所にかなりの負担となっていました。

そこで、コンクリートを打設した際に杭頭に残った余盛コンクリートを、硬化する前に「余盛スタンドパイプ」と「余盛除去ウェイト」を組み合わせることで除去する本工法の採用によって、はつり作業を大幅に低減しました。

1. 本工法の特徴

- ①従来のはつり作業に伴う騒音・ほこりの発生期間が大幅に削減できる。
- ②はつりガラ削減によって廃棄物の総量が大幅に削減される。
- ③杭頭余盛コンクリート処理の簡略化により、杭頭処理時間が従来の約半分となるため工期短縮が図れる。
- ④杭頭余盛部分の処理費用の低減が図れる。

2. 採用作業所の概要

①グランドパレスNS-10新築工事作業所

【工事概要】・発注者: ㈱ベストライフ

・場 所: 茨城県つくば市

・工 期: 平成 18 年 10 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日 (契約工期)

- ・用途：店舗（1,2階） 賃貸住宅 100戸
- ・構造：SRC造 1棟 地下1階、地上12階
- ・基礎形態：杭基礎 場所打ち鋼管コンクリート杭（TB杭同時建込み工法）
18本
場所打ちコンクリート杭（アースドリル拡底工法）7本
杭先端レベル GL-29.0m以深（内12本で採用）
- ・設計監理：大末建設(株)一級建築士事務所



掘削作業



掘削作業後の杭頭状況

②（仮称）京王堀之内共同プロジェクト作業所

【工事概要】・発注者：扶桑レクセル(株)、(株)グローベルス

- ・場所：東京都八王子市
- ・工期：平成18年11月1日～平成20年2月29日（契約工期）
- ・用途：分譲住宅 215戸
- ・構造：RC造 2棟 地下1階、地上14階
- ・基礎形態：杭基礎 場所打ち鋼管コンクリート杭（拡底鋼管杭）
杭先端レベル GL-24.0m 57本（内27本で採用）
- ・設計監理：大末建設(株)一級建築士事務所



余盛コンクリート除去作業



コンクリート打設状況確認

3. 今後の展開

両作業所での施工結果と近畿圏における施工実績データを基に、「品質面」、「コスト面」、「工程面」、「近隣対策面」等の検証を行い、本工法の採用が効果的となる条件などを整理します。

環境負荷が小さく、作業性の向上にも繋がる本工法を、関西・関東エリアだけでなく、今後は全国的に採用していく予定です。